

# ニューシネマ・パラダイス

Nuovo Cinema Paradiso

観賞日 2019・2・25

制作 1989年 伊 上映時間 175分 (完全版)  
監督 ジュゼッペ・トルナトーレ  
音楽 エンニオ・モリコーネ  
出演 ジャック・ペラン (サルバトーレ・ディ・ヴィータ 中年期)  
マルコ・レオナルディ (青年期)、サルバトーレ・カシオ (少年期)  
フィリップ・ノワレ (アルフレード)  
ブリジット・フォッセー (エレナ 中年期)



## 【あらすじ】

ローマに住む、高名な映画監督サルバトーレのもとに、ある晩、故郷にいる母親から、一本の電話があった。「アルフレードが亡くなり、明日葬儀がある」という報せだ。

今から30年以上前、戦後間もない頃のイタリア南部、シチリア島。戦争の爪痕が色濃く残る時代、人々の唯一の楽しみが町の広場にある映画館パラダイス座で観る映画であった。少年トト（サルバトーレ）は映画館に入り浸り映写技師のアルフレードと親しくなる。ある日、映写中に出火し映画館は焼失、アルフレードはトトの救出により一命はとりとめるものの失明してしまう。

新装なった映画館。映写技師をつとめるのはトト。青年になったトトは青い目の少女エレナに恋をする。エレナからの愛は得られたが周囲の賛成を得られないまま、トトは兵役に取られる。1年後、兵役から戻るが、エレナは行方不明。アルフレードはトトにこの土地を離れローマに行き、戻るなど告げる。

アルフレードの言いつけを守り、今回初めて故郷に戻ったトトはエレナに似た若い娘を見かけエレナの居場所を突き止める。エレナと再会したトトがエレナから聞いた驚愕の真実とは？そして、アルフレードがトトに贈ったフィルムの意味は？

イタリア映画らしいコメディタッチで描く、映画ファン必見の感動作。観る回数を重ねる程、素晴らしさに気づく175分の完全版。

## 【解説】

### ■三種類のバージョン

- ・オリジナル版 (155分)：イタリアで公開
- ・劇場公開版 (123分)：各国で公開
- ・完全版 (175分)：2002年に公開

### ■実の親子以上に強い結びつきのトトとアルフレード、結ばれなかったトトとエレナ

- ・子供を失ったアルフレードと父親を失ったトト
- ・失明したアルフレードの手足となるトト
- ・トトに人生を教えるアルフレードとアルフレードの忠告を受け容れ故郷を離れるトト
- ・アルフレードの本当の思いを後になって識るトト
- ・人生の幸せとは？

社会的名声と身の回りの幸せ（両立を求めるか・片方を選択か）

未練を断ったエレナと断てなかったトト

### ■受賞

- ・1989年：カンヌ映画祭審査員特別賞、アカデミー外国語映画賞

### ■見どころ

- ・人生を考えさせられる名言の数々
- ・エンニオ・モリコーネの軽快の中にもノスタルジーを感じさせるテーマ曲